

令和 7 年定例会

政策企画雇用経済観光常任委員会
所管事項説明資料

◎ 所管事項説明

- | | |
|----------------------------|--------|
| (1) 「令和 7 年版県政レポート（案）」について | ・・・ 1 |
| (2) 外国人の就労支援・海外からの人材確保について | ・・・ 3 |
| (3) 大阪・関西万博における三重県の取組について | ・・・ 7 |
| (4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について | ・・・ 11 |
| (5) 各種審議会等の審議状況の報告について | ・・・ 17 |

令和 7 年 6 月 20 日

雇用経済部

(1)「令和7年版県政レポート(案)」について

令和7年版県政レポート(案)について、冊子配付後におけるKPI(重要業績評価指標)の実績値の確定があったことから、記載内容を一部変更いたします。

【施策8-1】若者の就労支援・県内定着促進

〇めざす姿の実現に向けた施策の総合評価(185ページ)

<変更後>

めざす姿の実現に向けた施策の総合評価	
総合評価	評価の理由
B	若者等の県内就職・定着に向けて、関係機関等と連携しながら支援に取り組みましたが、県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合の増加には至りませんでした。 近年、県内企業の人材確保は極めて厳しい状況が続いていることもふまえ、県内企業の採用力向上につながる支援を行うとともに、三重での暮らしや仕事に関する情報について、より効果的な情報発信を行うことで、県内就職を促進する必要があります。 また、津高等技術学校の入校者及び受講者数については、人口減少に伴う新規高卒者の減少など社会的要因の影響に加え、津高等技術学校や訓練内容に対する周知不足の影響もあり、目標値を下回りました。

<変更前>

めざす姿の実現に向けた施策の総合評価	
総合評価	評価の理由
B	若者等の県内就職・定着に向けて、関係機関等と連携しながら支援に取り組んだ結果、目標値はやや下回るものの、県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合が増加しました。 また、「おしごと広場みえ」新規登録者で就職した人のうち、県内就職した人の割合は、3年連続で目標値を上回りました。 一方、津高等技術学校の入校者及び受講者数については、新規高卒者の減少や労働力不足など社会的要因の影響に加え、津高等技術学校や訓練内容に対する認知不足の影響もあり、目標値を下回りました。

○KPI（重要業績評価指標）の達成状況と評価（186 ページ）

「県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合」

<変更後>

2. KPI(重要業績評価指標)の状況							
KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度		7年度	8年度	6年度 の評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	
県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合							
－	45.5%	46.6%	47.7%	87.4%	48.8%	50.0%	b
43.5% (2年度)	43.5%	42.7%	41.7%		－	－	

<変更前>

2. KPI(重要業績評価指標)の状況							
KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度		7年度	8年度	6年度 の評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	
県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合							
						①③	
－	45.5%	46.6%	47.7%	速報値 (県内分 のみ)	48.8%	50.0%	b (見込)
43.5% (2年度)	43.5%	42.7%	47.2%		－	－	

(2) 外国人の就労支援・海外からの人材確保について

県内で就労する外国人労働者数（33,753人）及び外国人雇用事業所数（4,621事業所）は、ともに過去最高となるなど、県内企業では深刻な労働力不足を背景に外国人労働者の需要が高まっています。

このため、就職を希望する外国人が県内企業に就職・定着できるよう、求職者・企業双方を支援するとともに、専門的な知識や技能を持つ高度外国人材の採用をめざす企業を支援するため、海外からの人材確保に取り組んでいます。

1 県内における外国人の就労支援

(1) 企業向けの取組

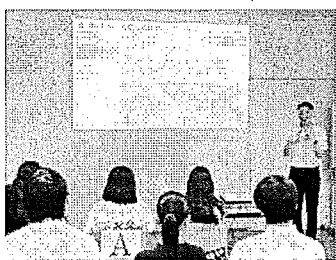
県内企業では、外国人雇用に関する基本的な知識・ノウハウ不足や受入れ環境整備への不安などが課題となっています。

このため、外国人労働者が安心して働くことのできる職場環境づくりに向けて、外国人雇用に意欲のある県内企業に対し、在留資格別の採用方法や適正な雇用管理などを紹介するセミナー及び個別相談会を令和7年7月から5回開催するとともに、外国人雇用に関する好事例を収集して発信します。

(2) 求職者向けの取組

県内高等教育機関に在籍する留学生のうち、国内で就職する割合は全体の約6割に留まっているほか、就職を選択した留学生のうち県内で就職する割合は、その半数を下回る一方で、県内の留学生からは、募集に関する情報や外国人労働者が活躍している企業情報を求める声があります。

このため、県内就職を希望する留学生等に対して、就業上のルールやマナー等を学ぶ就職準備セミナー及び県内企業への就業体験を令和7年7月頃から開催（各3回開催予定）するとともに、令和7年9月頃から合同説明会を開催（2回開催予定）します。また、県内事業所における外国人雇用に関する情報を収集して発信します。



(就職準備セミナーの様子)



(就業体験の様子)

(3) 相談窓口の機能強化などに関する調査

国内外で外国人材獲得競争が加速化する中、外国人労働者が安心して就労・生活できる受入れ環境の充実が必要となっています。また、経済団体からは、外国人労働者に加え、企業からの相談にも対応できる総合的な相談窓口の機能強化を求める声もあります。

このため、県内企業が抱える外国人材の採用及び職場定着に関する課題について令和7年7月頃に県内企業約2,000社を対象として調査を行い、その結果をふまえ、相談機能強化も含めた支援の充実について検討を行います。

2 海外からの人材確保

県では、県内企業からの雇用ニーズが最も高いベトナムと、二番目にニーズの高いインドネシアからの人材確保に関する取組を進めています。

(1) ベトナムからの人材確保

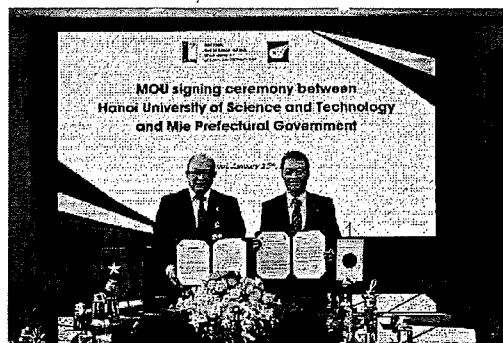
①ベトナム政府機関等との覚書締結

ベトナム・タイミッション（令和7年1月14日～19日）において、県内企業の現場で活躍できる人材の確保につなげるため、ベトナム人技能実習生・特定技能労働者を所管するベトナム政府の内務省（旧労働・傷病兵・社会問題省海外労働管理局）と覚書を締結しました。

また、県内企業が求める専門技術・知識を有する高度外国人材を確保するため、製造業が盛んな本県との親和性が高い学部を有し、学生数も多い国立ハノイ工科大学と覚書を締結しました。



（ベトナム政府との覚書の締結）



（ハノイ工科大学との覚書の締結）

②ベトナムにおける合同面接会の開催

高度外国人材の採用をめざす県内中小企業・小規模企業を支援するため、令和6年8月にベトナムでの合同面接会を開催したところ、ベトナム国内の大学生等 388名から応募があり、当日は書類選考後の48名が参加し、参加企業7社への内定者は12名（うち県内就職7名）となりました。



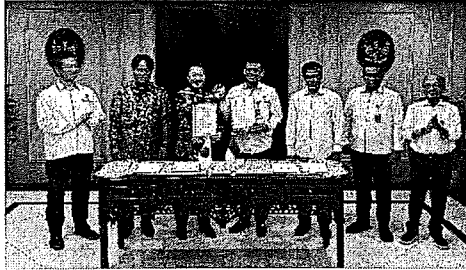
（令和6年8月にベトナムで開催した合同面接会の様子）

令和7年度は、ハノイ工科大学との覚書に基づき、同大学学生を対象に基礎的な日本語の習得に加え、三重県で働き・暮らす魅力を紹介する日本語教育講座を令和7年6月から開講するとともに、同講座受講生を対象に県内企業での就業体験を同年12月頃に実施します。また、令和8年3月頃には、ハノイ工科大学を会場として、昨年度に引き続き合同面接会を実施します。

(2) インドネシアからの人材確保

①インドネシア政府機関等との覚書締結

ベトナムに次いで県内企業からの雇用ニーズがあるインドネシアからの人材確保を進めるため、インドネシアミッション（令和7年5月5日～9日）において、労働省、移住労働者保護省、インドネシア送出し機関連盟（APPI）と、インドネシア人技能実習生等の送出し・受入れの推進にかかる覚書を締結するとともに、インドネシア国内でも教育水準が高く、総合大学であるインドネシア大学と高度人材の確保にかかる覚書締結に向けた意見交換を行いました。



（労働省との覚書の締結）



（APPIとの覚書の締結）

②インドネシアにおける合同面接会の開催

高度外国人材の採用をめざす県内中小企業・小規模企業を支援するため、新たにインドネシアにおいても合同面接会を令和7年9月頃を開催し、現地の大学生等とのマッチング機会を創出します。

(3) 大阪・関西万博における三重県の取組について

令和7年4月13日(日)に開幕し、10月13日(月・祝)までの184日間、大阪市臨海部の夢洲で開催される大阪・関西万博については、三重の魅力を発信し、本県の認知度向上及び観光誘客につなげるための取組を万博会場内外で実施しています。

1 関西パビリオン三重県ブースについて

(1) 来場者数の状況、来場者の反応

開幕日から6月15日(日)までの64日間における三重県ブースへの来場者数は、218,043人で、1日平均では3,407人となっています。

来場者には、「美し国みえ体験広場」の「引き出し展示」が特に好評で、中でも香りを体験できるもの(地酒、伊勢茶、かつおぶし、森の香り)や、触れることができるもの(海女漁の道具、松阪もめん、かたやき)、聴くことができるもの(赤目四十八滝の音)、大型の展示(オオサンショウウオの模型)等のコンテンツに高い評価をいただいています。

(参考) 来場者の感想(一例)

- ・教科書などで学んでいない三重県のこと分かって良かった。(50代、関東地方在住)
- ・引き出しで子どもたちがすごく楽しんでくれて連れてきた甲斐があった。(30代、関東地方在住)
- ・引き出しの香りが最高、(三重県ブース入口の)トンネルがキラキラしていて美しい。(60代、フランス在住)

(2) 特別展示の実施

5月10日(土)から28日(水)には、6つのテーマで実施する特別展示の第一弾として、映像展示「イマージブ熊野古道～二大聖地を結ぶ絶景の道を歩く～」を実施しました。

来場者からは「(熊野古道を)本当に歩いているような映像で感動した。」(50代、中国地方在住)、「迫力ある映像に圧倒され、森の香りも良かった。行ってみたくなった。」(40代、近畿地方在住)、「熊野古道の巡礼衣装を着て写真を撮れて良かった。素晴らしい日本文化。」(50代、インド在住)などの感想をいただきました。

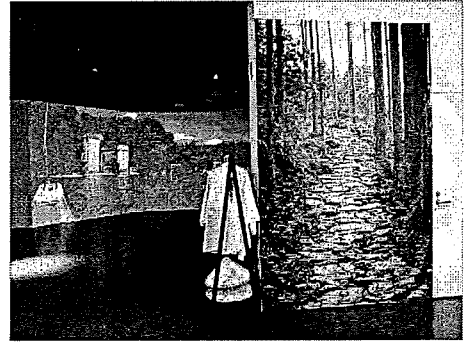
また、5月29日(木)から6月18日(水)は、「常若」をテーマに前回の式年遷宮(平成25年)により新しく作り変えられるまで、実際に内宮御正殿に使用されていた「内宮正殿鰹木」を展示するとともに、神宮の歴史や魅力、今年から始まった第63回式年遷宮に関する映像を映し出し、三重への来訪を呼びかけました。

来場者からは「貴重なものを見ることができてよかった。」(20代、近畿地方在住)、「とても大きくて驚いた。」(20代、ドイツ在住)、「鰹木を見たので、絶対に伊勢神宮を訪れる。」(30代、近畿地方在住)などの感想をいただきました。

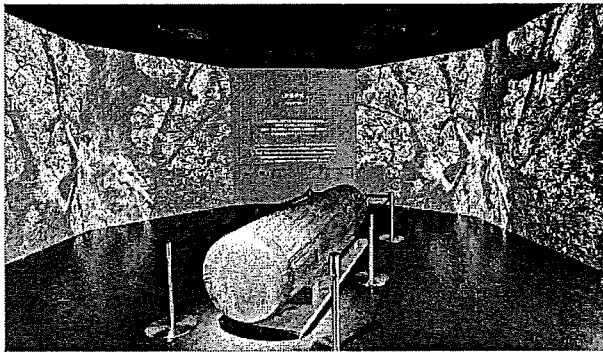
7月1日（火）から23日（水）は、「歴史・文化」をテーマに「宝刀『村正』」を展示するなど引き続き三重県ブースへの来場促進に取り組めます。



特別展示「イマーシブ熊野古道」



撮影スポット（熊野古道）



特別展示「常若～内宮正殿経木～」



特別展示「常若～内宮正殿経木～」

（3）市町による魅力発信

三重県ブースでは、希望する市町が、それぞれの魅力を発信する出展機会（各1日）を設け、各市町と連携してブースの魅力向上に取り組んでいます。

5月7日（水）から9日（金）の3日間は、紀北町、尾鷲市、熊野市がそれぞれワークショップを開催しました。

終了予定時間前に準備した材料を使い切るなど、予想を超える来場者がワークショップに参加いただきました。

5月7日（水）：紀北町 尾鷲ヒノキ うちわウッドバーニング体験

8日（木）：尾鷲市 尾鷲ヒノキの木札ワークショップ

9日（金）：熊野市 那智黒石 勾玉磨き体験

今後、6月19日（木）は伊勢市、20日（金）は明和町が出展し、21日（土）以降は19市町が特色を生かしたワークショップや観光PRを実施する予定です。



紀北町（5月7日）



尾鷲市（5月8日）



熊野市（5月9日）

2 万博会場での催事について

万博会場内の2箇所において、県庁各部局や市町等と連携しながら、三重の食体験や県産品販売、観光プロモーション等を実施します。

①「美し国彩り三重バザール」(関西パビリオン多目的エリア催事)

「三重の食体験」をテーマに、県内各地の食文化体験や県産品販売、観光PR等を前期、後期の計2回実施します。

県内産のお茶の試飲のほか、前期、後期合わせて37の事業者が出展して郷土料理や県産品などを販売するほか、希望のあった12の市町がそれぞれの魅力発信を行うブースを出展します。また、前期と後期は出展事業者を入れ替えることで目新しさを演出し、複数回の来場を促すなど集客を図ります。

- ・開催日程：(前期) 令和7年6月30日(月)～7月6日(日)
(後期) 令和7年9月2日(火)～9月8日(月)

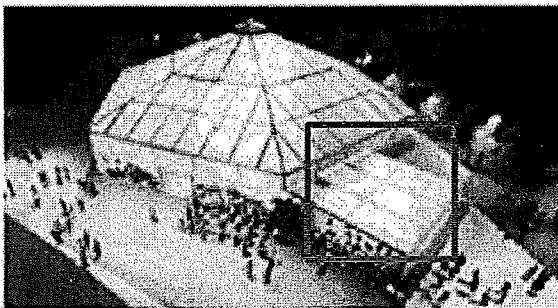
- ・会場：関西パビリオン多目的エリア(延べ面積約140㎡)

②「～三重のおまつり大集合!～ MIE フェスティバル in EXPO」

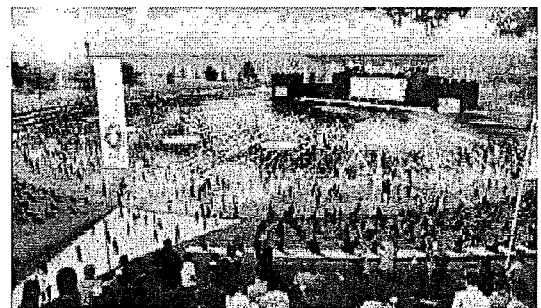
「祭り」をテーマに、県内合わせて10の祭事・行事の実演を行うとともに、市町や関係団体、県内事業者がブースを出展して三重の魅力をPRします。

県内各地の祭りが一堂に会するのは万博ならではの取組であり、それぞれ個性のある「ホンモノの祭り」の魅力を国内外の来場者に伝えます。

- ・開催日時：令和7年9月22日(月)
- ・会場：EXPO アリーナ「Matsuri」(屋外施設、延べ面積約8,400㎡)



①関西パビリオン多目的エリア
(画像提供：関西広域連合)



②EXPO アリーナ「Matsuri」

3 来場促進の取組について

三重県ブースへの来場促進のため、SNSを活用した機運醸成キャンペーン(「デジタルプロモーション事業」)を実施しています。

SNS広告(YouTube、Instagram、SmartNews等)で三重県ブースでの特別展示や催事開催などの情報を発信するとともに、開催期間中、特別展示等に因んだプレゼント企画を計11回実施します。

第1回から第3回のプレゼント企画には、あわせて23,945人の応募をいただくなど反響は大きく、今後もSNSでの情報発信を積極的に実施します。

4 今後の取組について

現在、三重県ブースには想定を超える来場者にお越しいただいていますが、会期後半の来場者のさらなる増加を見据え、引き続き来場者が体験することができ、ワークショップ等を市町と連携して実施するとともに、新たに万博周遊きっぷを発売している近畿日本鉄道株式会社との連携によるスタンプラリーも開催するなど、来場者の満足度向上や本県への誘客に取り組むとともに、会期中の安心・安全な三重県ブースの運営を図ってまいります。

(4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について



三重テラスの運営状況について(3月～5月)

平成25年9月のオープン以来の来館者数累計は、令和7年5月31日現在で、6,073,455人です。

令和6年9月に11周年を迎えた首都圏営業拠点「三重テラス」では、ショップ、レストラン、観光案内、コミュニティスペース(イベント・コワーキング)の機能により、三重の豊かな自然・歴史・文化・食など、様々な魅力情報を発信するとともに、首都圏と三重県の関係者が交流し、つながる場として、コミュニティ形成に取り組んでいます。

■1階ショップ

- 通路幅を広く取り、ゆとりを持って商品を見ることができる開放感のある空間において、食品や工芸品等の県産品を品揃えするとともに、季節に合わせたテーマで旬の商品をディスプレイし、多様な三重の魅力をアピールします。
- ショップ入口に対面販売を行うポップアップコーナーを設け、事業者が直接お客様に商品の背景やストーリーを伝えるとともに、県産品のブラッシュアップや販路拡大につなげます。

> SAKURA FES NIHONBASHI 2025



桜になんだ三重の商品の販売

> 三重テラスオリジナル商品の販売



尾鷲甘夏を使用した焼菓子「シェル・レーヌ尾鷲甘夏」

■1階レストラン

- 県内各地の郷土料理をアレンジするなど、オリジナルメニューにより旬の県産食材や地域の食文化の魅力を体感する飲食を提供します。
- 食のイベント企画を定期的に行い、料理人や生産者がお客様とコミュニケーションを取りながら、食材の産地やストーリーなど食の魅力を伝えています。

> 春ぶりまつり2025



尾鷲港などから直送された新鮮な春ぶりを使用した料理を、ランチ・ディナーで提供

> みえ牡蠣サミット2025



県内の5つの漁場の生産者が集結し、牡蠣にまつわるトークや5つの漁場の牡蠣の食べ比べなどを実施

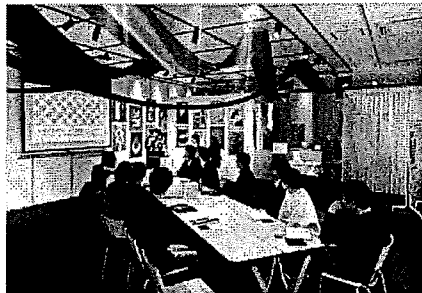
■2階コミュニティスペース

<イベント>

○市町や事業者等のイベント開催の場として引き続き活用するとともに、ショップやレストランと連携し季節や県内のトピックスに合わせたイベントの開催など、全館一体で三重の魅力を発信します。

> 東京クリエイティブサロン(3月)

- ・日本橋学生工房と協働で「三重の伝統を日本橋でつなぐ」をコンセプトに、工芸品を身近に感じていただける展示や工芸に関心がある方々で座談会、ワークショップを開催



> 日本橋エリア 日本酒利き歩き2025(4月)

- ・全国から50以上の酒蔵が参加し、日本橋エリアの飲食店などを巡りながら、利き酒と食を楽しむイベント
- ・三重テラス会場には、3社が参加



> ふるさと南伊勢PR活動(4月)

- ・南伊勢町立南島中学校・南勢中学校3年生が、これまで学んだ「ふるさと学習」の集大成として、修学旅行で首都圏の方々に南伊勢町をPR



> まごころお届けみえ2025 in 三重テラス(5月)

- ・三重県にゆかりのある首都圏在住の学生・若手社会人のコミュニティ「みえフェス」が主催し、春から東京で新生活を始める後輩を迎え、県内企業からの協賛品のプレゼントやクイズを通じた交流を実施



<コミュニティ形成>

○三重県ゆかりの方や三重に関心を持つ方など、三重ファンを拡大するとともに、交流を深めることでコミュニティ形成を促進します。

○コワーキング登録者数は、1,849名(令和7年5月末時点)、利用者数は、3月・4月と月300名を超えるなど、増加傾向にあります。

○三重テラス部活動「みえみかん部」が、尾鷲甘夏の収穫体験を3月に実施したほか、コワーキング利用者のアイデアで作成された「みんなで育てる三重MAP」をもとに利用者同士が交流し、菰野町・松阪市・南伊勢町などを訪問する「三重ツアー」が4月に実施されるなど、県内各地域や人のつながりが生まれています。

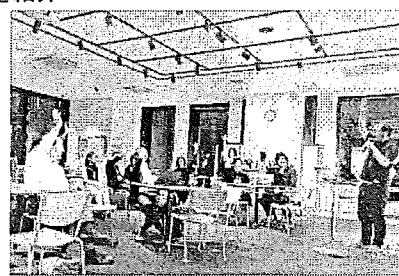
> みえみかん部「尾鷲甘夏収穫体験」(3月)

- ・三重テラスオリジナル商品「シェル・レーヌ尾鷲甘夏」の原材料となる甘夏の収穫体験



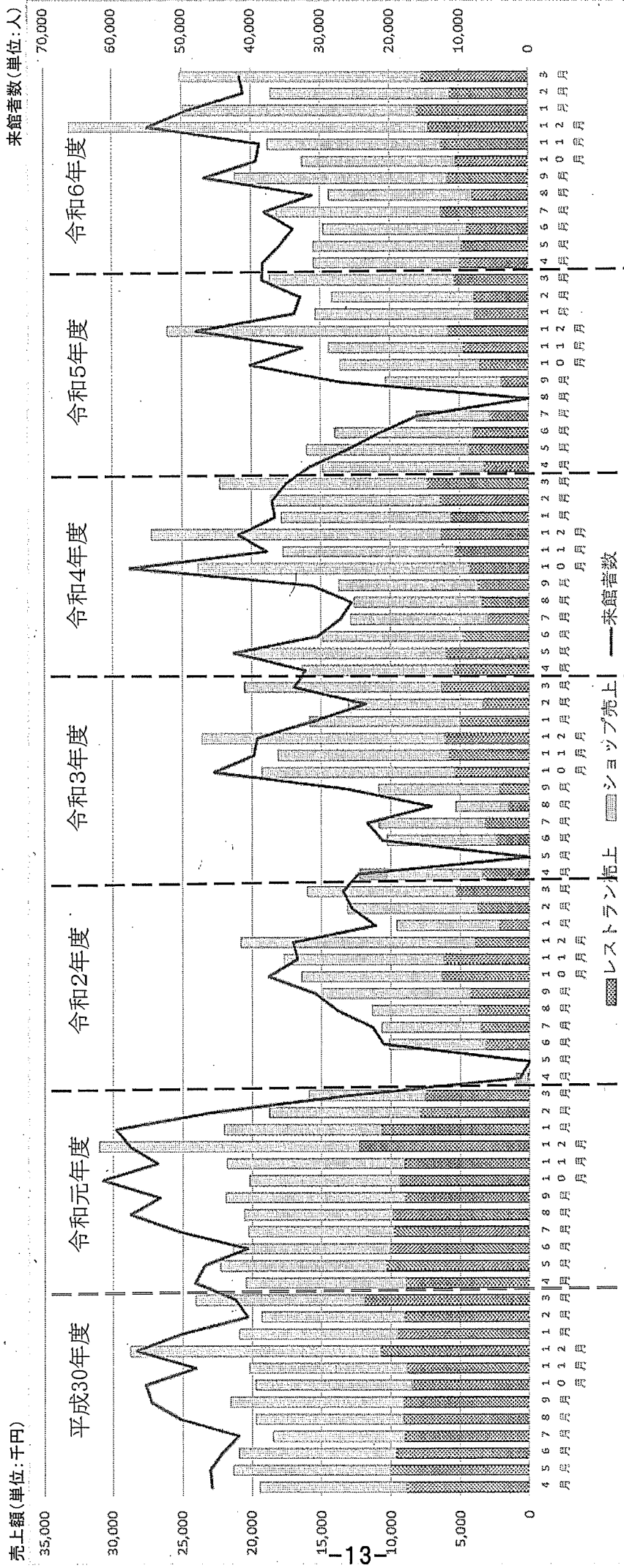
> みえレペゼン29vol.4「伊賀市・菰野町・津市」(4月)

- ・三重テラス部活動「みえレペゼン29」の活動第4弾として、伊賀市育ち・菰野町出身・津市出身の3名が各地の推しポイントを紹介



三重テラス来館者数および売上額の推移

別紙1



第2ステージ

第3ステージ

令和6年度は、12月の売上額が過去最高となったほか、来館者数、売上額ともに前年度を上回るなど、増加傾向が続いています。

・来館者数:前年度比122%(ショップ119%、レストラン177%)

・売上額 :前年度比124%(ショップ118%、レストラン140%) ※前年度比は休館期間を除き4～6月、10～3月の計で比較

三重テラス第3ステージ成果指標の実績

別紙2

「三重テラス第3ステージ(令和5年度～9年度)」における5つの成果指標の令和6年度実績は、全て目標値を上回る結果となりました。

成果指標	定義	数値目標（上段:目標値 下段:実績値）				
		R5	R6	R7	R8	R9
① 三重の魅力体験者数	三重テラス来館者のうち、県産品の購入、県産食材の飲食、観光案内の利用やイベントスペースへの入場など、三重テラスの利用により、三重の魅力を体験していただいた人数	131,000	138,000	159,000	183,000	210,000
		118,133	173,863			
② 商品開発・販路拡大件数	三重テラスを活用した新たな商品の提案、首都圏での営業活動の展開等により、商品開発や販路拡大につなげることができた件数	184	226	260	300	375
		205	262			
③ メディア掲載件数	三重テラスの関連記事が、首都圏のメディアに掲載された件数	76	85	98	113	130
		109	154			
④-1 魅力発信件数	三重の応援団、応援企業といった三重ファンや県内市町、団体、事業者等と連携した情報発信やイベントの実施等により、三重の魅力発信に取り組んだ件数	160	195	225	260	325
		201	259			
④-2 三重ファンコミュニティが実施したイベント・プロジェクト件数	④-1のうち、首都圏在住で三重にゆかりのある人や三重テラスのイベント等を通じてつながった人たちが形成した「三重ファンコミュニティ」により、主体的に企画・実施されたイベントやプロジェクトの件数	5	10	15	20	25
		7	22			

(5) 各種審議会等の審議状況の報告について

(令和7年2月17日～令和7年6月2日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和7年2月19日(水)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか5名出席
4 諮問事項	・「ニトリ松阪店」(松阪市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「ニトリ松阪店」(松阪市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備考	・次回審議会は令和7年4月以降に行う予定である旨連絡しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和7年4月30日(水)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか3名出席
4 諮問事項	・「伊賀はみんぐたうん」(伊賀市)の新設に係る届出について ・「(仮称)ラ・ムー四日市南店」(四日市市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「伊賀はみんぐたうん」(伊賀市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、駐車場の安全等について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。 ・「(仮称)ラ・ムー四日市南店」(四日市市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、駐車場の安全等について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。
6 備考	・次回審議会は令和7年5月21日(水)に行う予定である旨連絡しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和7年5月21日（水）
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか3名出席
4 諮問事項	・「伊賀はみんぐたうん」（伊賀市）の新設に係る届出について ・「（仮称）ラ・ムー四日市南店」（四日市市）の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「伊賀はみんぐたうん」（伊賀市）の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。 ・「（仮称）ラ・ムー四日市南店」（四日市市）の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備 考	・次回審議会は令和7年7月以降に行う予定である旨連絡しました。